

Seacoast Bank、論理データウェアハウスを使用してビジネスプロセスの効率を向上させる



www.seacoastbank.com

業種
金融

企業情報

Seacoast Banking Corporation of Florida は、フロリダに本社を置くコミュニティバンクの中でも最大規模の銀行であり、2016年3月31日現在の資産は約40億ドル、預金額は約32億ドルです。同銀行は、先進的なバンキングソリューション、ローカルブランド化された完全子会社 Seacoast Bank の既存の53支店、および5か所の商業銀行センターを通じて、コマーシャルバンキング、リテールバンキング、資産管理、住宅ローンサービスなどの統合金融サービスを顧客に提供しています。同銀行は1922年に設立された、3代目のCEOが率いる上場企業です。

「当行のビジネスユーザーはセルフサービスレポート機能を通じて貴重な情報を得ています。そして、それを実現するために最も重要な役割を果たしているのが、Denodo のデータ仮想化テクノロジーです。Denodo プラットフォームの機能によって、Seacoast Bank における業務の大幅なスピードアップを図ることができました。」

マーク・ブランチャット氏
Seacoast Bank バイスプレジデント、
ビジネステクノロジーおよびデータ管理担
当ディレクター

Seacoast Bank は、90年以上の歴史を持ち、オーガニックグロスおよび買収を通じて現在も成長を続けているコミュニティバンクです。同時に、銀行業界では顧客による金融機関の利用方法に大きな変化が起きており、より洗練され、統合されたデータの必要性が高まっています。Seacoast は、意思決定者が銀行のあらゆる業務について全体的な視点から捉えられるようにするためのプロジェクトに乗り出しました。こうして、自社の業務について総合的に把握できるようにするための取り組みは、Seacoast のさまざまな部門で進められてきました。そして、リスクの軽減、顧客サービスの向上、詳細な顧客分析、アップセルやクロスセルの機会の創出につながったのです。

ビジネスのニーズ

Seacoast Bank では、ホストされたデータウェアハウス環境に大量の業務データが存在します。ホストされたプラットフォーム以外の場所で多くのデータサイロが発生し、新しいデータソースを追加したり、ホストされたデータをリッチ化したりすることができずにいました。Seacoast では、こうした状況を改善するとともに各部門のユーザー向けレポート機能を向上させたいと考えていました。以前は、ローン、預金、ビジネスインターネットバンキングなどの中核的な銀行業務に携わっている Seacoast のビジネスユーザーは、カスタマイズされた静的なレポートが業務で必要になった場合には、IT チームに依頼しなければなりません。こうした一時的な手作業によるレポートは PDF ファイルや Excel ファイルとして作成され、そのプロセスは極めて非効率的で、旧態依然としたものでした。そして、特にこれらの静的なレポートをユーザー間で受け渡す場合に問題が顕著になっていました。Seacoast は、ビジネスユーザーがセルフサービス方式でデータを直接操作し、銀行のニーズの変化に応じてあらゆる種類のカスタムレポートを作成できるようにしたいと考えていました。Seacoast のビジネスリスク部門、電子銀行部門、財務部門のビジネスユーザーは、トレンド分析などの分析レポートを作成するのに2〜3日を費やしていました。Seacoast では、新しいデータの取得にかかる時間を減らすとともに、ユーザーがデータを詳しく分析して必要なレポートを必要なときに入手できるようにするための、モダンなビジネスインテリジェンスツールを必要としていました。

ソリューション

Seacoast では、データ仮想化を使用して論理データウェアハウスを実装し、サイロ化されたさまざまなデータソースのデータをまとめて、それらのデータに API、Web サービス、レポートツールを使用して簡単にアクセスできるようにすることにしました。そしてそのために選ばれたのが Denodo プラットフォームでした。管理しやすさ、豊富な機能、迅速な価値の実現が評価されたのです。

Seacoast では、Denodo プラットフォームを使用して、クラウドとオンプレミスの両方にあるさまざまなデータソースを統合しています。これには、クラウドとオンプレミスの両方にある、融資の組成、銀行の中核業務、マーケティングに関するデータも含まれます。集約されたデータは、SAS、Tableau などのツールにビューまたは仮想データマートとして公開され、ダッシュボード、レポート、分析などに使用されています。Seacoast のチームは、Denodo プラットフォームを使用して33を超える仮想データマートを作成しました。それらは、預金、ローン、オンラインバンキング、財務サービス、モバイルバンキング、ATM 取引、その他いくつかの、ビジネスの中核分野を対象としています。また、Denodo プラットフォームによって Web サービスの作成と構成も簡単になり、データの使用者は、カスタムアプリケーションを通じてコアデータを操作し、使用することができるようになりました。これらの仮想データマートが集まって、Seacoast の論理エンタープライズデータウェアハウスを構成しています。

利点

第 1 に、Denodo プラットフォームにより、Seacoast Bank のビジネスプロセスを向上させ、自動化することができました。Denodo プラットフォームを使用することで、ローン担当者、預金管理者、リスク管理者、ビジネスセキュリティ管理者などの基幹業務の管理者は、誰でも情報を利用できるようになり、同銀行ではセキュリティやデータ保護を維持したまま、日常業務をよりスムーズに行えるようになりました。

第 2 に、セルフサービスの BI 機能が備わっており、Seacoast のすべてのビジネス関係者は、以前よりもはるかに短い時間で業務レポートやビジネス分析レポートを生成できます。これらのレポートは、ビジネスユーザーのニーズに応じて自由にカスタマイズして生成できます。これは、以前にはできなかったことです。

最後に、Denodo プラットフォームの導入によって、エンタープライズデータウェアハウスを構築するための開発時間が大幅に短縮されました。従来の抽出、変換、ロード (ETL) プロセスを使用した場合は 8 か月かかっていましたが、データ仮想化を使用すると 5 か月で済むようになり、市場投入までの時間を 40% 短縮できました。また、データ仮想化によって、データウェアハウスの展開に必要なリソースが少なくて済むようになりました。

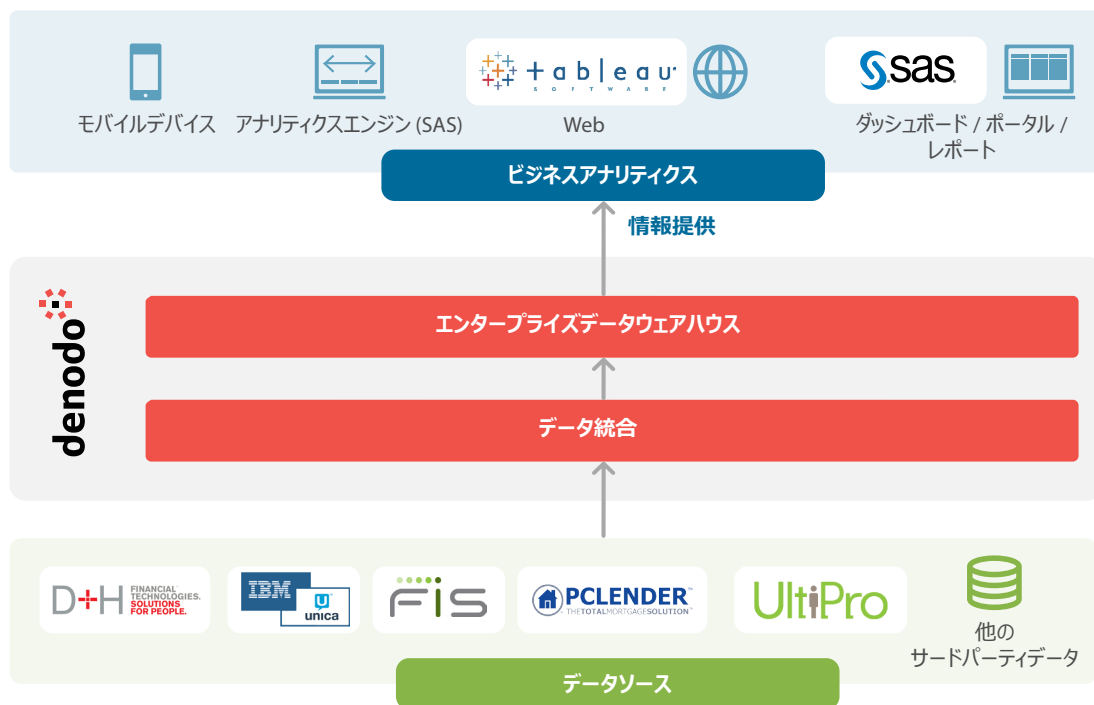


図 1: モダンなデータアーキテクチャにおける Denodo

Denodo について

Denodo は、データ仮想化市場をリードする企業として、エンタープライズ、クラウド、ビッグデータ、非構造化データソース、リアルタイムデータサービスといった幅広い環境で、俊敏かつ高性能なデータ統合とデータ抽象化を従来の手法の半分のコストで実現しています。Denodo のあらゆる主要な業種のお客様は、アジャイル BI、ビッグデータ分析、Web とクラウドの統合、シングルビューアプリケーション、エンタープライズデータサービスで必要とされる、統合されたビジネス情報に迅速かつ簡単にアクセスできるようにすることで、ビジネスの俊敏さと ROI を大幅に向上させました。Denodo は豊富な資金を持ち、高収益を上げている非公開企業です。

Web サイト: www.denodo.com メール: info@denodo.com twitter.com/denodo
 北米、アジア、太平洋: (+1) 877 556 2531 | 欧州、中東、アフリカ: (+44) (0) 20 7869 8053 |
 ドイツ語圏: (+49) (0) 89 203 006 441 | イベリア、南米 (+34) 912 77 58 55